

分子医科薬理学講座 助教候補者の公募について（公募期間の延長）

1. 募集人員 助教 1名
本学では任期制を採用し、任期を7年としております。（再任可）
2. 専門分野 分子医科薬理学
3. 応募資格 ①次の各号のいずれかに該当し、教育研究上の能力を有する者
 - 1) 博士の学位を有する者又は採用時に博士の学位を有する予定の者
 - 2) 学士（医学）の学位（相当する学位を含む。）を有する者、又は修士の学位を有する者で、査読のある雑誌（日本語を含む。）の第一著者の論文（症例報告を含む。）を1編以上有する者。②当該専門分野における研究業績があり、大学院修士課程及び博士課程における教育・実験指導等ができること
③科学研究費補助金等外部資金の獲得に意欲があること
④地域貢献活動等、全学的活動に積極的に寄与できること
⑤英語で講義ができることが望ましい
4. 採用予定日 令和3年1月1日以降のできるだけ早い日
5. 応募締切日 令和2年10月26日（月）17時必着
6. 提出書類 ①履歴書（別紙様式1）
②教育研究業績書（別紙様式2）
③科学研究費等研究助成取得一覧（別紙様式3）
④今後の研究計画並びに医学教育に対する抱負（A4用紙1枚程度）
⑤応募者に関して意見を求めることができる方1名の氏名とE-mailアドレス等の連絡先。（提出いただいた書類に含まれる個人情報、今回の選考以外の目的には使用しません。）
7. 応募先 〒930-0194 富山市杉谷 2630 番地
国立大学法人富山大学 学術研究部医学系長（医学部長） 宛
※応募は原則として郵送（書留）とし、封筒の表に「分子医科薬理学講座助教候補者 応募書類在中」と朱書してください。応募書類は原則としてお返しいたしません。
8. その他 本学学術研究部医学系では、分子医科薬理学講座 助教候補者を公募しておりましたが、このたび上記要領のとおり公募期間を延長することとしました。分子医科薬理学講座では、老化の分子メカニズムについて、生体内エネルギー代謝の観点から質量分析計によるメタボロミクスや遺伝子改変マウスを用いて研究を行っています。つきましては、老化や代謝研究に実績・興味があり、講座構成員とともに先端的な研究を行える候補者がおられましたら、是非ともご応募いただきますようお願いいたします。

(1)現在、研究室で行われている研究・教育の詳細については、分子医科薬理学講座のホームページ (<http://www.med.u-toyama.ac.jp/pharma>) を参照して下さい。その他、事務的な事項や研究・教育に関する内容について質問

などあれば、下記までお問い合わせ下さい。

(2) 分子医科薬理学講座では薬理学の講義・実習等を担当しています。着任後は、これらを一部分担していただくこととなりますので、経験は問いませんがそれらに対する意欲のあることが望まれます。

(3) 場合によっては、面接及び講演等をお願いすることがあります。

(4) 労働条件については、本学職員就業規則によることとします。

なお、本学では令和2年4月1日から新年俸制（退職時に退職手当を支給する年俸制）を導入し、本公募による採用の際にもこの新年俸制を適用します。

（給与に関するお問い合わせ先：総務部人事課 076-445-6524）

9. 本件に関する照会先

【事務的な事項について】

国立大学法人富山大学 医薬系事務部

医薬系総務課 医薬系支援チーム 医学人事担当

電話 (076) 434-7016 E-mail ninyou@adm.u-toyama.ac.jp

【研究・教育内容に関する事項について】

国立大学法人富山大学 学術研究部医学系

分子医科薬理学講座 教授 中川 崇

E-mail nakagawa@med.u-toyama.ac.jp

- 富山大学では男女共同参画を推進し、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。文部科学省平成27年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」の採択を受けて、出産・子育て・介護などのライフイベントのため、研究を中断した女性研究者の支援や、国際的視野に富む女性研究者の育成に取り組んでいます。

[ダイバーシティ推進センター] <http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>

以 上